

腎臓内科

【スタッフ】

坂井 尚二、杉元 悠太郎、竹内 亮

【概要】

スタッフは河村夏美医師が退職し、福岡大学病院腎臓・膠原病内科より杉元悠太郎医師、竹内亮医師が着任しました。

当科は専門内科として腎疾患や透析を中心とした診療活動を行っています。糖尿病をはじめとする生活習慣による疾患の増加、超高齢社会を反映して高齢者の慢性腎不全と透析導入が多くなり、福祉介護支援の重要性が増しています。そのため、多職種で地域包括ケアに対応しています。特に血液透析では家族以外に福祉介護スタッフによる通院援助など、地域で医療を支える体制づくりを行っています。

紹介の患者さまには、個別に腎臓病専門のスタッフによる栄養指導を受けていただき、患者満足度向上を図っています。診療現場では、看護師、薬剤師、臨床工学技士、管理栄養士などのコメディカルとの協働を密にして高品質な治療の提供を目指しています。

日常診療のほかに教育面では、研究会・学会での発表をコメディカルと共に行っています。また、今後の医療を支えていく初期臨床研修医の指導には、腎疾患を通じて内科全般の総合的な臨床能力が身につけられるように特に力を注いでいます。

【診療】

外来は常勤医 3 名、非常勤医 1 名で週 3 日（火・水・木曜日午前）行っています。

透析センターは、泌尿器科と協働して 32 床を月・水・金曜日に午前・午後の 2 クール、火・木・土曜日は原則午前の 1 クールで運営し、約 90 名の血液透析を行っています。

個々の病態に応じた治療ができるように心がけており、入院・外来維持透析の他に、種々の分野で必要となる急性血液浄化療法に対しては透析センター、HCU（救命センター）にて対応しています。

総合病院として他の透析施設から各科に入院する患者さまの受け入れを行っています。

整形外科疾患・脳疾患はもとより、心・下肢血管のインターベンション治療目的の循環器疾患が増加しています。

また、第二種感染症指定医療機関として、下関地区で発生した新型コロナウイルス感染症患者の透析も感染症病棟や透析センターの個室で対応しました。

CKD（慢性腎臓病）の治療は全身疾患の一環として診るよう心がけています。早期からの予防には、患者さまやかかりつけ医への啓発活動も腎臓内科の重要な責務と考え、病診連携に力を入れています。

慢性腎不全の予防や治療に密接な関連のある高血圧、心不全、糖尿病は、専門内科と連携し治療を行っています。特に食事治療の重要性を考え栄養指導、自己管理教育を保存期より多職種で積極的に行い、患者さまだけでなく紹介先の先生方の期待に応えるよう努め

ています。末期腎不全の腎代替療法（腎移植、血液透析、腹膜透析）については、透析センターで腎代替療法選択外来を行っています。腎代替療法選択外来では、血液透析、腹膜透析のほか、腎移植についても積極的に説明するよう心がけ、対象者は大学病院に紹介しています。説明は血液透析の現場見学や各治療法の動画等を活用し、選択の一助としています。

在宅治療である CAPD（腹膜透析）の管理も行っており、腎疾患はできるだけ腎生検を施行し、EBM（科学的根拠に基づく医療）に基づいて専門的治療を行っています。

遺伝性疾患である ADPKD（多発性嚢胞腎）は薬物療法（バゾプレッシン V2 受容体拮抗薬：トルバプタン）に取り組んでおり、腎嚢胞の増大を抑制し腎機能障害の進行抑制と合併症対策に取り組んでいます。

【入院患者統計】（令和 6 年度）

病 名	慢性腎不全	60
	急性腎不全	20
	慢性腎炎・ネフローゼ症候群	19
	電解質異常	8
	尿路感染症	14
	心不全	25
	糖尿病・糖尿病腎症	9
	シャントトラブル	65
	呼吸器感染症	29
	その他	58
	総症例数	307
治 療	内シャント造設術	21
	CAPD 手術	2
	PTA（経皮的血管造形成術）*	79
	経皮的腎生検	9
	血漿交換療法・血液吸着療法	46
	血球成分除去療法	38
	腹水濾過濃縮再静注法	21
	持続的血液透析濾過	61
総件数	277	

*…透析センターにおける件数

【業績集】

<学会・研修会>

開催年月日	演題名	演者	共同演者	学会名	場所
2024.6.7-9	透析患者を尊重した下肢切断後のレオカーナ治療の2症例	秋枝有美 ¹⁾	我如古めぐみ ¹⁾ 山口香世 ¹⁾ 辛島詠士 ²⁾ 坂井尚二	第69回日本透析医学会学術集会・総会	パシフィコ横浜
2024.9.21-22	レオカーナ使用前にACE阻害薬を中止したにもかかわらず、ショックを呈した一例	三田井盛将 ³⁾	安田正子 ³⁾ 黒田晋之介 ³⁾ 中村傑 ³⁾ 藤田忍 ³⁾ 若尾泰子 ³⁾ 前田友美 ³⁾ 佐々木毅 ³⁾ 辛島詠士 ²⁾ 坂井尚二	第14回中四国臨床工学学会	アイテムえひめ愛媛国際貿易センター
2025.2.16	ジルコニウムシクロケイ酸ナトリウム水和物(SZC)が胃内に残存し、内視鏡的に摘出した1例	杉元悠太郎	竹内亮 加来寿光 ⁴⁾ 保利喜史 ⁴⁾ 平田孝夫 ⁵⁾ 坂井尚二	第255回日本内科学会東海地方会	ウインクあいち

1) 看護部 2) 循環器内科 3) 臨床工学部 4) 消化器内科 5) 麻酔科